

進路だより 第8号



令和7年（2025年）
12月17日発行
球磨支援学校進路指導部

高等部1年生 初めての現場実習

高等部1年生は、12月1日（月）から12月12日（金）までの10日間、初めての現場実習に取り組みました。事前学習では、実習先について調べるところから始めました。「働くとは何か」「社会人としてのルールやマナーを守れているか」などについて考え、時間をかけて学習に取り組んできました。実習では、体調管理等の課題はありましたが、学習したことを生かしてそれぞれの実習先で実習をやり遂げることができました。

実習中は、不安や緊張が大きかったと思いますが、自分から仕事がないかを尋ねたり、職場の人と積極的に関わろうとしたりと、懸命に実習に取り組む姿が見られました。新たな一面が見られたとてもいい機会となりました。

さて、1年生の現場実習は「やってみよう」をテーマに取り組みましたが、生徒のみなさんは自分の進路と向き合ってどのようなことを考え、感じたのでしょうか。

現場実習の様子



現場実習先の紹介

一般企業

- ・あさぎりホーム
- ・サンロード
- ・魚国総本社 など

就労継続支援 A 型

- ・サンサイド Guts
- ・ブルーバード

就労継続支援 B 型

- ・白いキャンバス
- ・きんいろぼらりす
- ・あらた など

生活介護

- ・アート工房クレヨン
の森
- ・うぐいす

実習を終えてからが大切

現場実習で気づいた自分の強みや課題に向き合い、これからの学校生活にどう生かすかがとても大切です。実習を短期間のイベントとして捉えるのではなく、卒業後の生活をイメージして自分のこと・進路のことに向き合うきっかけにして、日頃の生活に生かしてほしいです。